



倉敷アイビースクエアの年末年始

おみそか
大晦日はおせち配りで
締めくくり

ホテルであり文化・観光施設でもある倉敷アイビースクエア（以下、アイビー）では、クリスマスが終わると装飾も一気にお正月モードに変身します。



フロントロビーも鏡餅でお出迎え

大晦日には、おせちのお渡し

会を開催しました。今回企画した三段重、二段重それぞれ限定30セットは完売。4割程度のお客さまがリピーターで、毎年楽しみにしていただいています。

当日の朝に仕上げ、梱包してお渡しまで、冷凍保存することなくお届けしています。作りだめできないため数には限りがありますが、調理スタッフのまごころも直前盛りのアイビーのおせち。お越しいただいたお客さまに丁寧にお渡ししました。

アイビーのおせちを囲んで、幸多き元旦を迎えていただいたと思います。

おせちセット準備完了
調理スタッフの皆さま
ご苦労さまでした



1組ずつ丁寧に
お渡ししました



アイビーのお正月といえは

年が明けると、アイビーのお正月の風物詩である、恒例の新年イベントが開催されます。

1月2日には倉敷二胡教室による演奏会、3日には倉敷天領太鼓による演奏会を行いました。

中国の伝統楽器「二胡」の演奏会は、18年前から行っていたでいています。メンバーの中には、小学5年生の時から参加され、今年社会人2年目を迎える方もおられるとか。まさにアイビーのお正月と共に成長されたようで感慨深いものがあります。

天気は快晴ながら、時折冷たい風が吹く中でしたが、日本と中国の楽曲17曲を奏でていただき、中庭を優雅な雰囲気包んでいただきました。



《二胡演奏》

優雅な調べを奏でいただきました

《倉敷天領太鼓》

目の前での迫力満点の演奏



子どもと若手メンバーによる演奏披露も



3日の倉敷天領太鼓は、前日の優雅さとまた違う勇壮な和太鼓の演奏です。グループ名の「天領」とは、江戸幕府の直轄支配地のことで、倉敷がかつて天領地であったことにちなんでの名前だそうです。

今年も迫力のある演奏で、中庭に太鼓の音が鳴り響き、威勢の良かけ声と重厚な太鼓の響きで会場を活気づけてくれました。子どもたちの演奏では、元気なかけ声と軽快な太鼓の演奏を聞かせてくれました。

こうして始まったアイビーの2026年。これからも、さまざまなイベントをご紹介しますまいります。皆さまのお越しをお待ちしております。

(総務部 桑田 智 記)